

前期期間（令和 3 年度～令和 6 年度）のうち、直近 3 ヶ年における環境指標の達成状況を取りまとめた。

①各環境指標の評価

評価	評価の説明	R3個数	R4個数	R5個数 (未確定)
○	前期（令和 6 年度まで）の目標を既に達成している指標	24	21	32
↑	基準年度より前進している指標	9	14	9
→	基準年度と変わらない指標	4	4	4
↓	基準年度より後退している指標	12	10	14
—	評価できない指標	10	10	0

②取り組み方針ごとの環境指標の達成割合の評価

評価	評価の説明	R3個数	R4個数	R5個数 (未確定)
5	環境指標の達成割合が80%以上～100%	3	3	5
4	環境指標の達成割合が60%以上～80%未満	1	2	4
3	環境指標の達成割合が40%以上～60%未満	0	0	0
2	環境指標の達成割合が20%以上～40%未満	3	3	2
1	環境指標の達成割合が0%以上～20%未満	8	6	4
—	評価できない取り組み方針	0	1	0

③各環境指標の評価の詳細

【基本目標 1】健康で、安心して暮らせるまちを形成します					R3		R4		R5		※R5の「環境指標の達成割合」、「実績値」、「評価」は、未確定で変更となる可能性あり	
1- 1 空気と水をきれいにする		環境指標の達成割合			38.5%		30.8%		30.8%			
		評価			2		2		2			
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 （令和元年度）	達成目標 前期 （R6）	達成目標 中期 （R10）	達成目標 後期 （R14）	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）
NO ₂ の各測定箇所での環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	○	—	—	100%	○	環境課	
SPMの各測定箇所での環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	○	—	—	100%	○	環境課	
町内における電気自動車導入累積台数	68台	88台	108台	128台	81台	↑	113台	○	138台	○	環境課	
工場、事業所からの排水基準の適合率	県測定 100%	100%	100%	100%	100%	○	100%	○	80%	↓	環境課	
	下水道課測 77.8%	100%	100%	100%	94.87%	↑	91.67%	↑	94.44%	↑	下水道課	11事業所36回の測定の内、2回の基準超過あり（改善済み）
公共下水道人口普及率	93.19%	94.60%	95.72%	96.85%	93.46%	↑	93.46%	↑	93.58%	↑	下水道課	
公共下水道水洗化率 （下水道供用済人口比）	97.59%	98.09%	98.49%	98.89%	97.78%	↑	97.92%	↑	98.05%	↑	下水道課	
BODの環境基準適合率 ・ 目久尻川 ・ 小出川 ・ 一之宮幹線 （一之宮第2排水路）	100%	100%	100%	100%	100%	○	100%	○	91.7%	↓	環境課	
	29.20%	29.20%	37.50%	41.70%	12.50%	↓	8.3%	↓	0.0%	↓		
	83.30%	91.70%	100%	100%	75%	↓	41.6%	↓	58.3%	↓		

資料 2_前期期間における環境指標等の達成状況（修正）

地下水の環境基準適合率	71.40%	71.40%	85.70%	100%	0%	↓	0%	↓	66.70%	↓	環境課	
公害苦情件数 ・大気汚染に係る苦情件数	11件 （屋外焼却を含む）	毎年、前年度より減らす			5件	○	9件	↑	11件	→	環境課	
水質事故件数 ・水質事故に係る対応件数	5件	毎年、前年度より減らす			5件	→	2件	○	0件	○	環境課	

※隔年で町が実施している大気調査については、良好な結果を示している。

※「町内における電気自動車導入累積台数」は、排気ガスを出さないという低公害の面よりもCO2削減の効果を考慮し、地球温暖化対策対策の取り組み（基本目標3）とした方がよいと考えられる。

※水質に関して、県と下水道課による工場・事業所の排水基準の適合率は、若干の基準超過は見られるものの概ね良好な結果で推移しており、「公共下水道人口普及率」、「公共下水道水洗化率（下水道供用済人口比）」も上昇している一方、地下水の環境基準、また、河川の環境基準については小出川をはじめ良好な結果が得られていない。（小出川は河川改修工事による水の濁りの影響もあり。）

※「公害苦情件数（大気汚染に係る苦情件数）」については、屋外焼却（野焼き）がもっとも多く見られるが、概ね基準年度（令和元年度）の件数内に収まっており、また、「水質事故件数」においても件数は減少している。

※令和5年度における環境指標の達成割合は、「30.8%」で、目標達成にわずかに届かない「公共下水道水洗化率（下水道供用済人口比）」もあるが、引き続き取り組みが必要。

					R3		R4		R5			
1-2生活に不快感を与える騒音や悪臭等を防止する					環境指標の達成割合		83.3%		33.3%		66.7%	
					評価		5		2		4	
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 （令和元年度）	達成目標 前期 （R6）	達成目標 中期 （R10）	達成目標 後期 （R14）	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）
道路交通騒音の環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	○	—	—	100%	○	環境課	
道路交通振動の要請限度達成率	100%	100%	100%	100%	100%	○	—	—	100%	○	環境課	
臭気の規制基準値の達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	○	—	—	100%	○	環境課	
公害苦情件数 ・騒音に係る苦情件数 ・振動に係る苦情件数 ・悪臭に係る苦情件数	17件 1件 6件	毎年、前年度より減らす			11件 1件 5件	○ → ○	6件 1件 2件	○ → ○	1件 1件 4件	○ → ↑	環境課	

※隔年で町が調査を実施している道路交通騒音、道路交通振動、及び臭気については、良好な結果を示している。

※公害苦情件数における騒音、振動、悪臭については、概ね前期の達成目標を達成している。

※令和5年度における環境指標の達成割合は、「66.7%」で、隔年で行った道路交通騒音等の調査結果が良好であったことなどを受けて、やや高い数値を示している。

					R3	R4	R5					
1-3災害・事故時等の生活環境対策を推進する	環境指標の達成割合				60.0%	0.0%	100.0%					
	評価				4	－	5					
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 （令和元年度）	達成目標 前期 （R6）	達成目標 中期 （R10）	達成目標 後期 （R14）	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）
ダイオキシン類の 大気調査における最大値	最大値 0.031pg-TEQ/m³	環境基準値（0.6pg-TEQ/m³） 以下の維持			－	－	－	－	0.0081pg- TEQ/m³	○	環境課	・ダイオキシン類の水質及び底 質については隔年調査、大気及 び土壌調査については4年に1度 の調査（次回調査は令和9年 度）としている。
ダイオキシン類の 水質調査における最大値	最大値 0.28pg-TEQ/ l	環境基準値(1.0pg-TEQ/l) 以下の維持			0.28pg- TEQ/L	○	－	－	0.32pg- TEQ/L	○	環境課	
ダイオキシン類の 土壌調査における最大値	最大値 3.8pg-TEQ/g	環境基準値（1,000pg-TEQ/g） 以下の維持			－	－	－	－	2.4pg- TEQ/g	○	環境課	
ダイオキシン類の 底質調査における最大値	最大値 4.9pg-TEQ/g	環境基準値（150pg-TEQ/g） 以下の維持			4.9pg- TEQ/g	○	－	－	3.1pg- TEQ/g	○	環境課	
地盤沈下の状況	2cm以上沈下 した水準点なし （調査地点20地 点）	年間2cm以上沈下した 水準点がないこと			年間2cm 以上沈下 した水準 点なし	○	－	－	年間2cm 以上沈下 した水準 点なし	○	環境課	

※令和５年度は環境指標であるダイオキシン類に関するすべての項目の調査を行ったが、いずれも良好な結果を示している。

※上記を受けて、令和５年度における環境指標の達成割合は、「１００．０％」と高い数値を示している。

【基本目標２】歴史とともに育まれた自然と共生します				R3		R4		R5					
2-1農地を保全し、農地の持つ環境保全機能を強化・活用する				環境指標の達成割合		100.0%		100.0%				75.0%	
				評価		5		5				4	
【環境指標に対する本年度の実績】													
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 （令和元年度）	達成目標 前期 （R6）	達成目標 中期 （R10）	達成目標 後期 （R14）	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）	
遊休農地面積	3.47ha	3.3ha	3.2ha	3.1ha	2.7ha	○	1.72ha	○	2.1ha	○	農政課		
農産物直売施設数	24箇所	24箇所（現状維持）			24箇所	○	24箇所	○	24箇所	○	農政課		
家庭菜園区画数	179区画	179区画（現状維持）			179区画	○	179区画	○	185区画	○	農政課		
エコファーマー認定農家数	5戸	5戸（現状維持）			5戸	○	5戸	○	4戸	↓	農政課	対象品目をやめたため	

※それぞれの環境指標は、「エコファーマー認定農家数」の実績値が基準年度よりも下がったことを除き、いずれも達成している。

※上記を受けて、令和５年度における環境指標の達成割合は、「７５．０％」とやや高い数値を示している。

					R3		R4		R5			
2-2生きものの生息空間を保全し、生物多様性を確保する		環境指標の達成割合			25.0%		25.0%		25.0%			
		評価			2		2		2			
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 （令和元年度）	達成目標 前期 （R6）	達成目標 中期 （R10）	達成目標 後期 （R14）	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）
自然環境保全地域面積	11.1ha	11.1ha（現状維持）			11.1ha	○	11.1ha	○	11.1ha	○	都市計画課	
保存樹林面積	15,338㎡	15,338㎡（現状維持）			15,128㎡	↓	15,048㎡	↓	14,949㎡	↓	都市計画課	分筆による樹林面積の減少が確認された
保存樹木指定本数	47本	48本	49本	50本	33本	↓	31本	↓	31本	↓	都市計画課	
環境学習講座や自然観察会への参加人数	3,756人	3,800人	3,850人	3,900人	356人	↓	2,675人	↓	2,015人	↓	環境課	

※「保存樹林面積」や「保存樹木指定本数」は、それぞれの補助制度の再開に伴い現状を調査した結果、基準年度の実績値を下回っていることが判明した。新たな指定先となる候補地や樹木の選定が必要。

※「環境学習講座や自然観察会への参加人数」は、コロナ禍の中であって大幅に減少していたが、令和４年度以降は右肩上がりではないにせよ回復傾向にある。

※令和５年度における環境指標の達成割合は、「２５．０％」で、「自然環境保全地域面積」以外の実績値が不良であったことを受けて、低い数値を示している。

					R3		R4		R5			
2-3歴史・文化を保全し、次世代へ継承する					環境指標の達成割合		0.0%		0.0%		100.0%	
					評価		1		1		5	
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 （令和元年度）	達成目標 前期 （R6）	達成目標 中期 （R10）	達成目標 後期 （R14）	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）
町内の指定・登録文化財の件数	22件	25件	26件	27件	23件	↑	23件	↑	26件	○	教育政策課	
普及啓発活動等の参加者数	200人	220人	240人	260人	190人	↓	214人	↑	275人	○	教育政策課	

※「町内の指定・登録文化財の件数」は、基準年度を上回る形で実績値が推移しており、令和５年度になってからは前期の達成目標を達成している。

※「普及啓発活動等の参加者数」は、令和３年度に一旦、落ち込んだものの、令和４年度以降の実績値が上昇に転じ、令和５年度では前期の達成目標を達成している。

※上記を受けて、令和５年度における環境指標の達成割合は、「１００．０％」と高い数値を示している。

【基本目標３】低炭素社会の実現に向けた地球温暖化対策を推進します					R3		R4		R5				
3-1省エネルギーを推進する			環境指標の達成割合		33.3%		33.3%		66.7%				
			評価		2		2		4				
【環境指標に対する本年度の実績】													
環境指標の項目		現状及び 基準年度実績値 (令和元年度)	達成目標 前期 (R6)	達成目標 中期 (R10)	達成目標 後期 (R14)	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）
町の事務事業に伴う電気使用量		5,426MWh (H25実績を基準)	5,317MW h	5,209MW h	5,100MW h	5,417MW h	↑	5,405MW h	↑	6,075MW h	↓	環境課 財産管理課	学校給食センターの開設に伴い、 電気使用量については大幅に増加 した。

町の事務事業に伴うCO2排出量	2,681t-CO2 (H25実績を基準)	2,252t-CO2	1,823t-CO2	1,394t-CO2	2,526t-CO2	↑	2,399t-CO2	↑	1,340t-CO2	○	環境課	CO2を発生しない再エネ電力への切り替えが進んだことにより、前期の達成目標を達成した。
上水使用量	5,957千m³	現状以下の維持			5,957千m³	○	5,906千m³	○	5,876千m³	○	環境課	

※「町の事務事業に伴う電気使用量」、及び「町の事務事業に伴うCO2排出量」は、令和4年度まではいずれも基準年度よりも良好な形で実績値が推移しているが、令和5年度においては、「電気使用量は学校給食センターの開設に伴い増加したが、「CO2排出量」は再エネ電力への切り替えに伴い、大幅な減となった。

※令和5年度における環境指標の達成割合は、「66.7%」で、「CO2排出量」の目標の達成などを受けて、やや高い数値を示している。

					R3	R4	R5					
3-2再生可能エネルギーの利用を推進する					環境指標の達成割合		0.0%	0.0%	100.0%			
					評価		1	1	5			
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 (令和元年度)	達成目標 前期 (R6)	達成目標 中期 (R10)	達成目標 後期 (R14)	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）
町の公共施設における太陽光発電設備利用 施設数	10箇所	11箇所以上			10箇所	→	10箇所	→	11箇所	○	環境課	令和5年度に新設された学校給 食センターに設置された

※備考欄に記載のとおり、令和5年度において、学校給食センターへの太陽光発電設備の設置に伴い、前期の達成目標を達成している。

※上記を受けて、令和5年度における環境指標の達成割合は、「100.0%」と高い数値を示している。

					R3	R4	R5					
3-3気候変動の影響に適応したまちをつくる					環境指標の達成割合		0.0%	100.0%	100.0%			
					評価		1	5	5			
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 (令和元年度)	達成目標 前期 (R6)	達成目標 中期 (R10)	達成目標 後期 (R14)	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）
自主防災訓練の実施回数	21回	22回			18回	↓	25回	○	22回	○	町民安全課	

※令和3年度は基準年度の実績値を下回ったが、令和4年度以降は自主防災訓練の活発化に伴い、前期の達成目標を達成している。

※上記を受けて、令和5年度における環境指標の達成割合は、「100.0%」と高い数値を示している。

【基本目標 4】資源が循環する仕組みを構築します					R3		R4		R5			
4- 1 ごみの減量化や資源化を推進する					環境指標の達成割合		0.0%		0.0%		16.7%	
					評価		1		1		1	
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 (令和元年度)	達成目標 前期 (R6)	達成目標 中期 (R10)	達成目標 後期 (R14)	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）

一人1日当たりのごみ排出量	784 g	729 g	725 g	721 g	761 g	↑	730 g	↑	712 g	○	環境課	
一人1日当たりの家庭系ごみ排出量	612 g	457 g	453 g	449 g	610 g	↑	578 g	↑	554 g	↑	環境課	
リサイクル率	27.6%	33.3%	35.8%	39.9%	29.0%	↑	28.6%	↑	27.6%	→	環境課	
一般廃棄物の年間総排出量	13,888 t	12,598t	12,528t	12,459t	13,469t	↑	12,960t	↑	12,661t	↑	環境課	
フリーマーケットの出店数	186店舗	238店舗の維持			—	—	158店舗	↓	172店舗	↓	環境課	出店者の意向により区画を見直した。
		(238店舗は、H27年度～R元年度の平均値)										
「不用品登録制度」の年間利用件数 (※成立した件数)	31件	34件	37件	40件	25件	↓	8件	↓	15件	↓	環境課	昨年度より増えているが、毎年傾向が異なる。

※「一人1日当たりの家庭系ごみ排出量」、「一般廃棄物の年間総排出量」は、いずれも基準年度よりも良好な形で実績値が推移しており、令和5年度において「一人1日当たりのごみ排出量」は目標を達成し、「一般廃棄物の年間総排出量」は過去もっとも少ない量となった。

※「フリーマーケットの出店数」は、コロナ後の現在は基準年度と異なり、各店舗を隣接させない形で出店させているため、環境指標である238店舗の維持の実現は困難な状況となっている。

※「不用品登録制度」の年間利用件数」については、基準年度の実績値よりも不良な形で実績値が推移しており、制度の効果的な周知とともに、より町民が利用しやすくなるよう内容の検討が必要。

※現時点における令和5年度における環境指標の達成割合は、実績値の改善は見られるものの「16.7%」と低い数値を示している。

					R3	R4	R5					
4-2ごみの適正管理・適正処理を推進する					環境指標の達成割合		0.0%	0.0%	0.0%			
					評価		1	1	1			
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 (令和元年度)	達成目標 前期 (R6)	達成目標 中期 (R10)	達成目標 後期 (R14)	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考 (R5)
違反ごみの収集量	5,114kg	4,900kg	4,700kg	4,500kg	5,973kg	↓	6,217kg	↓	7,271kg	↓	環境課	

※「違反ごみの収集量」は、コロナ前の基準年度よりも不良な実績値で推移しており、かつ、年々悪化している。町民が分別のルールを守り、違反ごみそのものが減るような効果的な周知が必要。

※上記を受けて、令和5年度における環境指標の達成割合は、「0.0%」と低い数値を示している。

					R3		R4		R5			
4-3水が循環するまちをつくる					環境指標の達成割合		0.0%		0.0%		0.0%	
					評価		1		1		1	
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 (令和元年度)	達成目標 前期 (R6)	達成目標 中期 (R10)	達成目標 後期 (R14)	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）
雨水貯留槽施設設置助成件数 (平成24年度以降の累計)	35件	55件	71件	87件	38件	↑	42件	↑	43件	↑	下水道課	令和5年度は1件の助成金利用があり、またHP上で周知を図った

※「雨水貯留槽施設設置助成件数」は、基準年度よりも良好な形で実績値が推移しているが、令和5年度においても前期の達成目標に届いていない。

※上記を受けて、令和5年度における環境指標の達成割合は、「0.0%」と低い数値を示している。

【基本目標 5】快適で住みやすい都市環境を構築します					R3		R4		R5			
5- 1 都市の中の水辺や緑を創出する		環境指標の達成割合			83.3%		83.3%		83.3%			
		評価			5		5		5			
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 （令和元年度）	達成目標 前期 （R6）	達成目標 中期 （R10）	達成目標 後期 （R14）	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）
都市計画区域面積に対する緑地の割合	28.2%	28.2%（現状維持）			28.2%	○	28.2%	○	28.2%	○	都市計画課	
1人当たりの公園面積	3.9㎡	3.9㎡	4.0㎡	4.1㎡	3.9㎡	○	3.9㎡	○	3.9㎡	○	都市計画課	
緑化活動ボランティア数	12人	16人	20人	24人	256人	○	260人	○	259人	○	都市計画課	
河川を活用した事業実施回数（他団体との連携を含む）	13回	17回の維持			7回	↓	13回	→	16回	↑	環境課	
		（17回は、H27年度～R元年度の平均値）										
小出川の多自然型河川工法等による整備延	2,692.9m	現状より増やす			2,812.9m	○	2,907.9m	○	2,980m	○	環境課	
親水護岸の箇所数	2箇所	2箇所（現状維持）			2箇所	○	2箇所	○	2箇所	○	環境課	

※それぞれの環境指標は、「河川を活用した事業の実施回数」を除き、いずれも前期の達成目標を達成している。

※上記を受けて、令和5年度における環境指標の達成割合は、「83.3%」と高い数値を示している。

					R3		R4		R5				
5-2環境に配慮した交通インフラの整備などのまちづくりを推進する		環境指標の達成割合			0.0%		0.0%		0.0%				
		評価			1		1		1				
【環境指標に対する本年度の実績】													
環境指標の項目		現状及び 基準年度実績値 （令和元年度）	達成目標 前期 （R6）	達成目標 中期 （R10）	達成目標 後期 （R14）	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）
町道維持工事着手率（90路線）		93.30%	96.60%	98.90%	100%	93.96%	↑	93.96%	↑	95.94%	↑	道路課	

※「町道維持工事着手率」は、基準年度よりも良好な形で実績値が推移しているが、令和5年度においては前期の達成目標に届いていない。

※上記を受けて、令和5年度における環境指標の達成割合は、「0.0%」と低い数値を示している。

					R3		R4		R5			
5-3清潔で美しいまちをつくる					環境指標の達成割合		0.0%		60.0%		60.0%	
					評価		1		4		4	
【環境指標に対する本年度の実績】												
環境指標の項目	現状及び 基準年度実績値 （令和元年度）	達成目標 前期 （R6）	達成目標 中期 （R10）	達成目標 後期 （R14）	実績値 R3	評価 R3	実績値 R4	評価 R4	実績値 R5	評価 R5	進行管理 担当課	備考（R5）

不法投棄パトロールによる不法投棄確認箇所	3箇所	2箇所	1箇所	0箇所	3箇所	→	3箇所	→	3箇所	→	環境課	
自主的な環境美化活動の回数	50回	55回	60回	65回	52回	↑	69回	○	62回	○	環境課	
環境美化活動の参加人数（美化キャンペーンの参加も含む）	4,580人	4,600人	4,650人	4,700人	1,731人	↓	3,296人	↓	3,403人	↓	環境課	参加人数の修正
環境美化活動の実施団体数	41団体	46団体	49団体	52団体	44団体	↑	58団体	○	55団体	○	環境課	
さむかわエコネットの環境活動における参加人数（目久尻川クリーン作戦）	187人	200人	215人	230人	109人	↓	242人	○	218人	○	環境課	

※「不法投棄パトロールによる不法投棄確認箇所」は、基準年度の箇所数のまま推移している。

※「自主的な環境美化活動の回数」、「環境美化活動の実施団体数」、「さむかわエコネットの環境活動における参加人数」は、環境指標の前期の達成目標をいずれも達成している。

※「環境美化活動の参加人数」は、新型コロナにより大きく実績値が落ち込み、新型コロナ後も環境美化活動 1 回当たりの参加人数が減となったことから、基準年度よりも不良な形で実績値が推移している。

※令和 5 年度における環境指標の達成割合は、「60.0%」で、平均以上のやや高い数値を示している。

総括

- ・基本目標 1「健康で、安心して暮らせるまちを形成します」については、大気関係の指標については概ね良好な結果が得られているが、水質については下水道の整備推進を中心に改善が図られているものの、河川水質の指標などは基準年度よりも後退してしまっている。一方で騒音や悪臭などの生活に身近な環境における公害の指標、及び災害時・事故時等の生活環境対策に関わる指標は良好な結果が得られており、前期の目標を達成している。
 - ・基本目標 2「歴史とともに育まれた自然と共生します」については、生物多様性の確保に関わる緑に関する指標が前期の目標を達成できていないが、農地に関する指標や神社などの歴史・文化に関する指標は良好な結果が得られており、概ね前期の目標を達成している。
 - ・基本目標 3「低炭素社会の実現に向けた地球温暖化対策を推進します」については、省エネに関する指標は、学校給食センターの開設に伴い電気使用量が増加した一方、公共施設の再エネ電力への切替によりCO2排出量は大幅な減となり前期の目標を達成した。再生可能エネルギー利用の推進、及び気候変動適応に関する指標も良好な結果が得られており、前期の目標を達成している。なお、基本目標の表題である「低炭素社会の実現」は「脱炭素社会の実現」に改める必要がある。
 - ・基本目標 4「資源が循環する仕組みを構築します」については、ごみの減量化や資源化に関する指標は、一人 1 日あたりのごみ排出量が前期の目標を達成したほか実績値に改善が見られるが、ごみの適正管理・適正処理に関する指標は基準年度よりも後退してしまっている。また、水循環に関する指標については、その実績値は基準年度よりも前進が見られるが、前期の目標達成に届いていない。
 - ・基本目標 5「快適で住みやすい都市環境を構築します」については、都市の中の水辺や緑の創出に関する指標については概ね良好な結果が得られている。交通インフラの整備などのまちづくりに関する指標は、基準年度よりも前進が見られるが前期の目標達成に届いていない。清潔で美しいまちづくりに関する指標は、一部、基準年度よりも後退したものもあるが、概ね良好な実績値で推移しており、それは前期の目標を達成している。
 - ・重点プロジェクトの進捗状況については、詳細は令和 5 年度版環境報告書の案を参照。
- 「水辺を中心としたまちをきれいにしよう！プロジェクト」については、13 個ある取り組みの中で 10 個の取り組みが数値管理目標を達成した。（河川美化キャンペーン等におけるごみの収集量の削減等）
- 「二酸化炭素排出実質ゼロのまちキックオフ！プロジェクト」については、17 個ある取り組みの中で 13 個の取り組みが数値管理目標を達成した。（公共施設における再エネ電力調達の導入等）